

スカウト おおいた

第42号

2015年 6月 7日 発行

日本ボーイスカウト大分県連盟

編集 県連総務委員会

「よりよいスカウトを育てよう！」

公益社団法人 日本ボーイスカウト大分県連盟
コミッショナー 真田康広

日頃よりボーイスカウト大分県連盟の活動に対しましてご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

いよいよ、この夏、第23回世界スカウトジャンボリー大会(23WSJ)が山口県きらら浜で開催されます。今回のテーマ「和(平和の和です)WA:a Spirit of Unity」のもと、世界150有余の国と地域から約3万人のスカウトが集結し、「平和と友好の促進」に努める絶好の機会です。大分県連盟を含む九州・沖縄ブロックの参加隊は、日本派遣団の第10分団に属するようになり、イギリスを始めとしたヨーロッパ地域やインターアメリカ地域等のスカウトと同じサブキャンプ(ウエスタンハブ)で、大会期間中(7/28~8/8;12日間)は協力して野外生活を営みます。

2年前に同会場であった16NJ、昨年の9KCへは各団のご支援によって多くのスカウトを派遣出来ましたが、今回も一人でも多く参加して貰い、世界のスカウトとの交流等を通じて大きく成長することを願っています。各団・隊指導者におかれましては、これまでの総仕上げとなるよう大会参加に向けたスカウトへの指導、また未参加スカウト等へは、ぜひともこの機会に大会会場へ来場いただくとともに、「ジョイン・イン・ジャンボリー」などの関連プログラムによる支援をお願いします。外に、現在、海外スカウトのうち、イギリス隊(40名)、マカオ隊(28名)スカウトの



ホームステイの受入が予定されています。こちらでも実行委員会を中心として、現在準備を進めていますので、併せてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

もとよりスカウト運動の目的は、「より良き社会人」を目指して青少年の発達に貢献する

ことと同時に、『Creating a Better World(より良い社会を作る)』ことが世界共通の展望であります。良き社会人とは、一言に“生きる力”、“豊かな心”などの自立した一人の人間としての資質や能力に加えて、社会を築き力強く生きて行く、言わば“人間力”のある大人と理解しております。我々は、より多くの方々に参加を呼びかけ、皆様と共にひとりでも多くよりよいスカウトを育てて行くよう努めて実践活動に取り組んで参ります。

おわりに、スカウト運動において『団』はスカウトへのサービスの最も大切な組織です。今後もコミッショナーグループとして出来る限り団訪問をさせていただき、団と共に成長そして発展していきたく存じます。把手共行しボーイスカウト運動の推進に取り組んで行きましょう！

弥栄

菊章 隼章 交付

隼章

内田 涼太 大分第5団

菊章

滝澤 大希 別府第9団

蓑干 佑也 別府第9団

田辺 みさき 大分第5団

山形 望仁 大分第2団



平成27年3月と5月に隼章・菊章
を取得された方々です。
誠におめでとうございます。

第23回世界スカウトジャンボリー 全国 ORIZURU キャラバン

～あなたの折り鶴を世界へ届けよう!!～

中津市のイオンモール三光で5月17日の日曜日、
野外活動に役立つロープの結び方体験やクイズを通し、
ボーイスカウト活動の素晴らしさなど体験を通じてア
ピールする「全国 ORIZURU キャラバン」を開催した。

当日は多くの
家族連れで賑わ
い、千羽の折り鶴
も皆さんの手で
完成できました。



会場全景と折られた千羽の折り鶴

テントの中は快適かい？



新聞社やテレビ局からの取材も受けました。



ロープの
結び方は
こうして
あーして
判らない



初めて
折り鶴
に挑戦

うまく
折れる
かな？



各団活動

中津第8団

16NJの頃から結成の話が上がる。他の大学と異なり、山口大にはローバースがなかったため現役ボーイス



カウトである山口大OBの協力を得て2月に結成した。結成後に山口県連に挨拶に行った。メンバーは現在2年生3人、3年生1人。登山や海外スカウトの歓迎行事等の活動を行ってきた。

杵築第1団

3月隊集会のテーマは「春休みだ！新学期だ！町も気持ちもリフレッシュ！」

城下町・商人の町の通り会である「護町会」と、小学校の通学路である杵築の名所「酢屋の坂」の横にある広場を協働して清掃奉仕しました。芝の間に生えてしまった雑草を抜いたり、上の台から落ちてきた枯れた竹の葉等を集めたり、投げ捨てられていたゴミを拾いました。

日頃のスカウト精神の向上とともに、いろいろな団体との交流・協働をし、杵築のための活動に



さらに力を入れていきたいと思えます。

5月初旬には、杵築お城まつりにデイキャンプで参加し、各地からこられた方にもBS活動の普及に努めました。

別府第9団

恒例の・伝統の耐寒キャンプを今第38期も大寒の1月24～25日に少年自然の家「おじか」で実施しました。

BVS-VS・指導者・保護者を含めて総勢36名の参加で、避難生活を想定した-4℃～1℃の野営生活でしたが、インフルエンザ流行中にもかかわらず元

気に所期の目的通り活動しました。特にカブからの上進者には、ボーイ隊の体験キャンプを兼ねてのプログラムでしたが、上進への意欲満々で、4月にはめでたく上進。



なお、写真は施設の材料を訓練用にお借りして、ボーイにもできるパイオニアリングの様子です。結索訓練ができました。

由布第2団

2月22日、古野公民館で由布第2団はBP祭を行いました。

ビーバーからベンチャー、保護者まで全員集合です。最初にBPやジャンボリーの話をお聞きしました。動くBPの姿を見せてもらったスカウトたちはビックリ。

次は、昔からお祝いの際には餅をつくつと、餅つきのいわれを教してもらいました。そしていよいよ餅つきです。石臼でペタン・ペタン。

団委員長から餅つきの極意を教わり、美味しいお餅ができました。全員真っ白になりましたが、片付けもみんなで行い「団は家族」を実感した1日でした。



大分第1団

今年のボーイ隊は上進スカウト4名でのスタートです。急に難しくなった活動内容に戸惑いながらも、ちょっぴり大人になった感じがして期待感が高まります。

上進後初めての活動は初めてのハイクにチャレンジ、班長は班長訓練で習ったことをおさらいしな



がら班員を率います。戸惑いながらも、自分たちで解決して無事ゴールすることが出来ました。

れからどんな班になっていくのか楽しみです。

大分第2団

A型テント大好きボーイ隊の紹介をします。

隊長男性36歳、副長女性3?歳、副長男性4?歳
スカウト経験有り。



どのリーダーもジャンボリー・キャンボリー参加経験が豊富でスカウトたちに語るのが上手です。目をキラキラさせながら聞くスカウトを目の前にすると、つい話が長くなるのが2団のリーダーの特徴です。スカウトは、なんと25名。途中退団者が最近少なく細く長く続くのも良さの1つです。ゴールデンウィークには沢水キャンプ場で訓練キャンプ。草原でおもいきりした野球は素敵な思い出の1つになりました。最後に、集会の参加率なんと70%以上。こんなスカウトに囲まれて活動している私は幸せ者でしょ！

大分第5団

大分第5団ベンチャー隊は活動目標を、美食とし活動の中での料理メニューを増やす事にしました。デイキャンプや登山キャンプなどで、和洋中とイタリアンにも目を向けて普段キャンプでは味わえない料理を目指して活動しました。



写真はパンケーキアラモードで、好きな物をのせた物です。

大分第9団

4月18日～19日は、いまいち山荘にてカブスカウトの舎営を支援するデンコーチキャンプを



実施。ハイキングに同行したり、夜間ハイク(肝試し?)の課題出題のお手伝いをしたりしました。

カブスカウトたちは保護者も一緒に、ボーイ隊のテントサイトを見学、夜はボーイ隊が作成した「たちかまど」でマシュマロをあびって食べ大喜び。ボーイ隊一同から頑張っって早くボーイ隊に上がってきてとの声も聞かれました。

津久見第1団

以前は、2泊3日の50kmハイクなんていう超ハードなこともやっていましたが、今では1泊2日の極楽メニューとなっています。

今年は、スカウトよりのリクエストメニューで夕食は「バーベキュー」でした。食べる！食べる！よく食べる！・・・最後の締めは、「石井リーダー焼きそば焼いて！」と、麺の袋を開いて待っています。



おいしいものを食べた翌朝は、「スカウツオン」で森井リーダーのありがたいお話を聴き元気よくスタートしていきました。